

## 【市長と語る懇談会 記録】

開催日 平成 26 年 10 月 17 日（金）

地区 豊浜西小学校区

会場 豊浜西小学校 1 階会議室

参加者数 19 人



### 《質問・意見》

災害時に住民の生存を確認するには名簿が必要となるため、私の自治会では 12 年ほど前に調査した名簿があり、危機管理課へ名簿に載っている人の住民登録の有無、生年月日などを確認してほしいとお願いしたが、担当課でなく情報を持っていないため対応できないとの返答であった。

その後、戸籍住民課とも話し合い、検討するとのことであったがまだ回答されていない。

### 《回答》【市長】

内容を確認させていただき、早急に回答させていただきます。

ただし、個人情報保護の関係から、全てに対応することは困難と思われるので、どこまで可能か分かりませんが、早急に対応いたします。

### ＜後日回答＞【担当部局 危機管理部危機管理課】

検討の結果、個人情報保護の関係から、ご要望にお答えすることができません。また、危機管理課で住民情報を持つべきとのご提案につきましても、個人情報保護の関係から持つことができませんのでご理解いただくようお願いいたします。

県内の担当者会議等で、防災に住民情報が活用できるよう法改正等も含め議論していきたいと考えています。

### 《質問・意見》

市では、個人情報を保護する立場から名簿の確認は難しいのではないかと。そのため、私の自治会では、今年、自治会独自で住民の居住状況を調査して名簿作成を進めている。

### 《回答》【市長】

民生委員さんにご協力いただいている、災害時に自力で避難することが困難な方を支援する災害時要援護者登録制度では、申請時に自治会などへの個人情報の提供を承諾していただいている情報共有を図っていますが、現在の個人情報保護法では、災害時の利用など法律が改正されなければ困難な状況で、全国的な課題であると認識しています。

### 《質問・意見》

来年度からの障がい者福祉計画が検討されているが、障がい者や市民に行ったアンケートには貴重な意見が寄せられていると思うので、ぜひ目を通してもらって、特に障がい者の就労について前向きに検討していただきたい。

### 《回答》【市長】

今年度から障がい者施策に力を入れていこうと考えて、高齢者と障がい者と分けていた組織を一緒にしました。組織は細分化すれば専門性が高まるが連携がなくなるので、人員も手厚くして連携が深まるようにしています。

特に、障がい者の方々の働く場の確保、働くことが困難な方々の活動の場づくりを準備させていただいていますが、就労の場である作業所については、県の補助金が認可されることが重要であり、現在、手続を進めている状況です。

今後、先進医療が進めば進むほど助かる命が多くなり、障がい者のサポートが重要となることから、積極的に進めさせていただきたいと考えています。

現在、策定している計画がきちんと市民の方々のもとへ届くように進めさせていただきたいと思っていますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

### 《質問・意見》

まじめに働こうと思っている方が働く気力を失わないような雇用体制や、子供たちが地元へ戻って就職できる環境を整えてほしい。

また、私たち世代は子育てが難しい時代であったが、これからは人口減少の時代であり、少しでも子供を増やしていくためにも安心して子育てできる環境を整えていただきたい。

### 《回答》【市長】

少子化対策については、今まで教育、地域医療などそれぞれの分野別に行ってきましたが、人口が減少している状況は変わっていません。

5年前から、各町の人口がどのように変化していくのか、若い世代はどうなるのかなど調査をしていて、結果として2030年には約15%減少し、高齢者が多くなって税収も2割近く減少すると予想されています。

そのような状況で、人口が減少した場合に備えて小中学校の再編、地域医療の整備などを進めてきましたが、それだけでは駄目だと思い、それぞれの事業を合わせた少子化対策を進めていくため、庁内に準備委員会を設置しました。

今後は、働く場の確保、教育など切れ目のない政策を進めていき、定住してもらえる環境整備を進めていきたいと思っています。

また、地元の企業、事業所が活性化する取り組みを積み上げて、まち全体が元気になればと考えて、いろいろな施策を実施しています。

事例としては、高齢者や障がい者の方が安心して伊勢に来ていただけるように、小さな

旅館や民宿が行うバリアフリー改修に補助金を交付するバリアフリー観光という事業を行いました。遷宮効果もあり、宿泊者が増加して後継者もできたという旅館もありました。

今までのように、大きな企業を誘致して多くの雇用を生み出すというのは困難であり、中小企業をきちんと支えていく体制が大事だと考えて事業を進めています。

#### 《質問・意見》

このような懇談会を開催していただけてうれしく思っています。できれば、来年以降も続けてください。

昨年の懇談会で市長記者会見の動画をインターネットで公開できないかと質問して「検討する」との回答であったが結果はどうなったのか、また、今年度、総合計画を策定したが、人口減少への対応を実施すれば5年後の伊勢がどのようなになっているか記載されていないので、どうなると予想しているのか教えてください。

それと、まちづくり協議会について、市役所と協議会との役割分担はどのようになるのか、協議会の条例制定を進めているようであるが基本となる自治基本条例の制定はどのように考えているのか教えてください。

最後になりますが、オープンデータについて県は検討していると聞いているが、伊勢市はどのような取り組みをしているのか、産業育成につながると思うので考えを聞かせてください。

#### 《回答》【市長】

総合計画では人口政策の目標を明記していませんが、今年からワーキンググループを作って少子化対策をどのように進めていくか準備していますので、来年度には具体的な政策を公表できるのではないかと考えています。

記者会見の動画をインターネットへ公開することについては、できないことはないですが、人員も限られている状況なので、現在はテキストデータのみ公開しています。

まちづくり協議会については、まずは自治会があって、広域的な形としてまちづくり協議会を進めてもらっています。しかし、自治の仕組みは様々な形があり、10年後、20年度も現状の形なのか、もっと広域の組織となるのか想定は難しいですが、市役所の役割は憲法や法律で基本的な部分は定められているので、それが軸になっていくと考えています。質問された自治基本条例については、どこまで内容を規定していくのか検討している状況です。

オープンデータについては、現在は進んでいませんが、どこまでの情報共有がメリットとなるのかなどを宿題として、情報収集から始めるように指示をしている状況です。

#### 《質問・意見》

このままでは、人口が約3万人減少すると予想されているなか、子供たちが都会へ出てから地元へ戻ってくるためには何が必要なのか、きちんと考えてもらいたい。

## 《回答》【市長】

少子化対策は全体的に進めていきたいと考えて取り組みを始めています。いろいろなご意見を聞かせていただければと思っていますので、よろしくお願いします。

## 《意見》

先ほどから、みなさんの意見を聞かせてもらって、行政ばかりに頼っていては駄目なのかなと感じました。もはや、行政だけでは立ち行かなくなっているような気がします。

ですから、地域の人たちが力をあわせて10年、20年先のことを考えて、子供たちが地元へ戻ってきたいと思えるまちにしていかなければならない。

いま地域に住んでいる人たちが行政にお願いするだけでなく、知恵を出して汗をかいて何とかしなければ人口は減っていくだけである。

昔、千葉県で何でもやる課というのがあったが、現在ではそのようなことをすれば財政的にもたない状況であり、地域の人たちが自分の家を守るように地域を守るという意識が大切だと思います。

そういう意味でまちづくり条例という根拠を作っていたのは、非常に良いことだと感じていますが、地域の人理解をしてもらうには時間もかかるし、人づくりも大切であるので、市からもしっかりと説明をしていただきたい。

## 《意見》

私の自治会では、30年ほど前から親子会の活動をしていますが、会員だけでなく地域のみんなが関わってくれるので現在も続いています。

子供たちも、小さい頃から地域と関わっているので、地元に戻ってくる人も多く地域の活動にも参加してくれます。そのため、今回の遷宮行事も世帯数は少ないですが立派にできたと思っています。

子供のときは親子会に参加して、大人になれば子供たちを見守る役割を担うなど、地域で居場所があるというのは重要なことだと思います。

また、地域での活動を長く続けることで、伝統行事も継続できるなど住民のつながりができてきます。

## 《質問・意見》

まちづくり協議会の存在を地域の人に知ってもらうには、5年はかかるだろうと思っています。先ほどの緊急時の名簿の件については、危機管理課が情報を持つことは良いことだと思うが外部へ出すというのは別の議論であって、出せないというのは当然のことだと思います。

そういう状況では、地元が行政に頼らないで、行政では持っていない生の情報を取れるはずであるが、その機運が高まるにはまだ5年はかかると思うので、少し長期的に取り組まなければ仕方がないと思っています。

それとひとつだけお願いしたいのは、他のまちづくり協議会と交流できる場がなく、市を通じて情報を得るかホームページなどで確認するしか方法がないため、交流できる場を設けていただければありがたいと思っています。

《回答》【市長】

それぞれが交流できる場について検討させていただきます。